



安岡 明雄
(市民の声)

人口減少、地球温暖化に対応するまちづくり

質 地域の生産力や市の財政力の低下と、年金・医療等社会保障の費用増加に対応するには、コンパクトなまちづくりが有効との研究がある。将来不安に対し説明が必要ではないか。

答 コンパクトなまちづくりという表現はないものの、持続可能な都市づくりという観点で、総合計画、能代市国土利用計画、都市計画マスタープランを策定している。これらの計画はまちづくりのグランドデザインとなるものであり、市民には市の広報、ホームページ等で知らせている。

公共建築物の木造化により働く場の創出を

質 公共建築物に木材の利用促進を図ることにより、林業、木材産業、建設業の振興につながる。今後の公共建築物は、木造化にすることを明確に打ち出すべきではないか。

答 法的な規制や用途等による制限などから、すべての公共建築物を木造化することは難しいと考える。このため、公共建築物の木造化及び内装木質化の推進に関する基準を一つの指標とし、できる限り木造化を進めていく。なお、先般法律が成立し、地方公共団体も公共建築物への木材の利用に努めるよううたわれている。

その他の質問事項

- ・市長マニフェストと市政の進め方
- ・秋田杉の普及を含めた産業振興
- ・教育の地域主権



小林 秀彦
(日本共産党)

能代北部の風力発電計画

質 全国で風力発電の大型風車をめぐり地元住民から不眠や頭痛などの健康被害が続発している。栗山、小土からの要望を重く受けとめ、この事業計画は断念させるべきではないか。

答 市は、事業者へ地域住民に対する説明を十分行うよう求め、また環境影響評価書案等の縦覧場所を提供している。今後、農振除外の申し出等が提出された場合には関係法が定める要件を満たすか確認する必要がある。引き続き事業者に対し住民への十分な説明を求め、不安を招かないよう適切に対応したいと考えている。

国民健康保険税の引き下げ

質 市民にとって重税となっている国民健康保険は、引き上げるのではなく、市民の負担軽減のために、減免制度の拡充、基金の活用、一般会計からの法定外繰り入れ等を検討すべきではないか。

答 減免制度の拡充については租税負担の公平性や他の納税者との均衡を図る観点からも現行の規定で対応していきたい。また、能代地域と二ツ井地域の国民健康保険の不均一課税を段階的に統一するために旧二ツ井町の基金を活用している。厳しい市の財政状況下で一般会計からの繰り入れは難しい状況にあると考える。

その他の質問事項

- ・農家の市税等の延納制度の継続
- ・イオン出店
- ・秋田社会保険病院の存続



渡辺 優子
(公明党)

認知症の支援

質 認知症の介護は家族にとって大きな負担、見守り等は介護保険の適用外となっている。介護の隙間となっている認知症の方と家族をサポートする事業を導入すべき。

答 市としては、昨年度から認知症の方や家族を支援し見守っていく「認知症サポーター養成講座」を開催するなど、さまざまな事業に取り組んでいる。現在行っている事業を検証し、当地域の実情に合った地域包括ケア体制の構築を、24年度から始まる第5期介護保険事業計画の中に位置づけるよう検討していきたい。

児童の安全対策

質 中学生の踏切事故、また、罵声を浴びせられたり、腕をつかまれたりとの不審者の声かけ犯罪が多発している。子どもたちの安心・安全の対策を講じるべき。

答 事故防止のため、児童生徒が通学路で危険な箇所や注意すべき内容を記載した地図を作成するなど、一層具体的に取り組むよう各学校に指導していきたい。また、不審者対策としては、メール配信システムの活用による迅速な情報の周知と共有に努め、関係機関、地域、保護者と連携し被害や再発を防止していきたい。

その他の質問事項

- ・母子健康手帳のパスポート化
- ・発光ダイオード・LED
- ・子どもの読書環境